

②6 鉄山開拓願（中小坂村金久保鉄山）

明治5（1872）年11月14日

幕末期、中小坂（現下仁田町）では、鉄の採掘が始まっており、水戸藩や幕府勘定奉行の小栗上野介らがこれを利用しようとした。本格的な開発が進むのは明治以降であり、中でも明治6年経営権を得た丹羽正庸（太政大臣三条実美の家令）は、イギリス人技師ガールやウォートルス、スウェーデン人ベルギレンを雇い入れ、蒸気機関による洋式溶鉱炉などを備えた近代的な製鉄所の操業を開始しました。当時としては日本最先端の設備を有し、鉄鉱石採掘から鉄製品製造までを行った点も画期的でした。

群馬県行政文書 A0181A0M 14

